



# ききょうだより

令和2年  
7月27日  
第4号

教育目標 『磨き 輝き 未来をともに拓く』

校長 山田 和弘

## 思いやりのある子 ～やさしい笑顔いっぱい！初めてのなかよし班活動～



1年生が入学してから3か月が経過した17日、感染症予防対策で延期になっていた“1年生を迎える会”が行われました。従来の全校児童が集まったの集会活動ができない現状を踏まえ、どんな形でできるかを6年生児童が考え、休み時間を利用して準備してきました。

まずは、グループ内でのお楽しみゲーム。算数の「10までのかず」「いくつといくつ」の学習を生かし、数字のカードを使って行いました。6年生が問題を出したり、10になるカードの組み合わせを探したりなど、遊びながら学習の成果を発揮しました。

次は、6年生の縄跳び技の発表会。連続跳び、後ろ跳び、あや跳び、二重跳びなど、凄技の連続に、自然と拍手が起こりました。

最後に、プレゼントとして準備してきた自己紹介カードを渡しました。なかよし班の1年生の子の写真に、班員からのメッセージを書いたカードが張られた作品は、6年生児童の心がこもった力作でした。それまでは「ソーシャルディスタンス」を意識してきた子供たちも、頭を寄せ合いながら、満面の笑顔で見入っていました。

美山小学校の学校自慢として、児童会活動の柱である『ききょう活動』、その5本の柱の1つに、「なかよし」があります。この取組の1つである「なかよし班活動」が始まりました。なかよし班活動は、6年生38人の1人1人がリーダーとなって、班での活動・ペアの子との交流を進めていきます。ファインダー越しに見えた1年生の少し照れながらの笑顔、そして、**やさしさと温かさに満ちあふれた6年生の笑顔**がとても印象に残りました。これからの活動がますます楽しみになりました。

## 新しい教科『外国語科（英語）』の充実に向けて ～主幹教諭企画“小中連携外国語指導”始まる～

美山中校区 若井主幹教諭の発案で始まった“小中連携外国語指導”の第1回目の授業が、5・6年生児童を対象に行われました。本年度より、小学校において完全実施となった学習指導要領において、3・4年生に年間35時間の外国語（英語）活動、5・6年生に年間70時間の外国語科（英語）が新設されました。この外国語科、外国語活動は、

○次世代を担う子供たちに、国際的な視野をもったコミュニケーション能力の育成をはかること

○教育の機会均等、中学校教育との円滑な接続を図ること

を主なねらいとしています。美山中学校の大原先生にも参加していただき、小中連携外国語指導を行います。第1回目の授業では、大原先生の特技であるオペラ歌唱に感動し、滑らかな英語に引き込まれた楽しい時間となりました。



### 情報モラル指導 「話そう！ 語ろう！ わが家の約束」運動

本年度、第1回目の情報モラル指導を行いました。家庭での約束作り、ありがとうございました。インターネット機器を使うときの約束・マナーを守り、正しく活用できる姿に私たち大人が見届けていきましょう！

「パソコンでのゲーム、動画は時間を決めて見ようね。体を動かす遊びや、家族で楽しくすごそうね。」

「ゲームの時間がもう少し、もう少しとなかなか守れません。今度こそしっかり約束を守れるようにします。」

「自分で決めた使い方を守ろう。何気ない一言が友だちを傷つけることもあるから、発言には気をつけてね。」

「ネットでのモラルを守るためにも、自分だけで判断しないで相談してね。」 (保護者の皆様より)